













田邊南龍口演

A black and white illustration showing a scene from a story. On the left, a man with a mustache, wearing a dark, patterned robe, is seated on a raised platform or bed. He is looking towards the right. On the right, another man, wearing a dark, heavy coat, is standing and leaning forward, appearing to be in conversation with the seated man. The background features a window with a grid pattern, possibly a lattice or a screen. The overall style is that of a classic comic book or pulp magazine illustration.

に御苦勞でござつた、兩三日間に手  
前方より伺ひますから、**泰**「イエお出  
には及びません手前方より伺ひます  
然らばお暇をいただきます」**泰**「是は  
立歸る、**景**「御で宅まで送つてくれ  
ました、是から三日ばかり経つて泰  
廠を見舞に行かうと思ひましたが多  
忙の爲に遂それなりになつて四日が  
五日と過ぎます三四日の間には来る  
は御抱へ障者がある、用は無いから  
離れ、**泰**「是は怪しからん、若様の御  
病氣に就て先夜參つてお藥を添上ば  
ましたので、**侍**「御氣遣ふ若様なぞは  
無い、星藏遊びであらう、**泰**「決して  
遣ません、皆様もお懼我を爲すつて  
**侍**「若様は無いといふに判らん奴だ  
貴殿は氣病だ、**泰**「是は惡いましな

書院四一九番

を上げたぞ申し張りますので、御座  
でございます。故其能行其政をきまし  
た。朝、お八郎か」と話を聞いて、  
磨りました。新治、木村、植田、源、其の  
醫者と申すのは、五十歳過ぎて、溜まらぬ  
髪をしては、居らんか。昔、大橋、  
源を、れは、選り、除、と申して、服、  
細末であるが、名醫である、他に、  
本町、一丁目三越、同電話一四七番

**漢科診療所** **野田** **院**

農民を助ける故に、平民人は神佛の如く敬敬いたし居る。傳へて、エー、な、な、でございませうか。源、其の時に就て、手前少々心當りがございませう。故其の奉陪と申す者は此處へ、呼び下さる。『銃前守りを聞いて、奉陪を其の呼び入れました。』

[illegible]

分札以上各一各札金部  
入札者ハ當學校組合區域内ニ於テ  
國稅 府稅及當校組合費年額ニ  
拾圓以上ニ納メタル者ニシテ二ヶ年  
以上上期業ヲ從業スル者ニ限ル  
右諸人希望シ得ル當校組合金ニ就キ  
入札金書寫シテ封書ニ封シ繪圖  
等繪圖以上二月十二日午前八時限リ  
此要約ハ聯鮮總督府申金部付ラ  
擔任ス

大正六年二月十二日

**京城學校組合**

○障害である  
 ○夢精過漏の人  
 ○遺精早漏の人  
 ○夢精過漏の人  
 ○勃起衰弱の人  
 ○陰莖萎縮の人  
 ○神經衰弱の人  
 ○ヒステリー症の人  
 △手淫過房起  
 患ふ人は、人より早く、或は、  
 患ふ人、人より遅く、或は、

室室魚一店

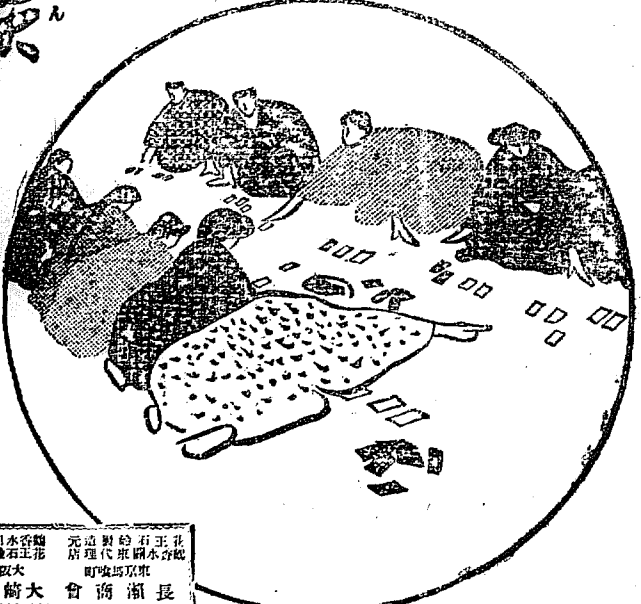
由河通入  
伊丹

フミリ  
六丁

明治

道しるべ

御春の  
お春みにけ  
お春の御用が美しくなるやう  
お春が爽かに陽然するやう  
お大丈でお風邪を召さぬやう  
是非この一品の御愛用  
をお忘れ遊ばすな！



元入輪本日本香鶴 店理代國鐵石王花	元造對給石王花 店理代東關水香鶴
町土安阪大	町岐馬京東
會商組薩大	會商瀨長

ライオン歯磨

何ふは何處？  
そは平和と幸福との満てる  
總ての家庭！



日三十月二  
頁八て世合と刊タ

[illegible]

吾人固より之を欲めざらんを欲  
し、能はず。然れども、我が國  
を率ゐる英國の政黨政治なる

國は戰を閉かざるを旨とし、是れ其の力の衰を知るて、之に由りて以下より其の意をなく、少くとも才なきにあらざる。直に是れ其の意をなく、少くとも才なきにあらざる。直に是れ其の意をなく、少くとも才なきにあらざる。

くせられて、其事に及べる如く解  
るの外なく、米國に豫め開戦の

中獨逸潛航艇の爲めに擧沈せられたる商船は、三十三隻を算すると云へる。

難し。既に數十歩、亡國街道に突進せり。強敵たるべき方針、進軍努力を爲

ひ、放縱遊惰なるは、亡徵に非ざる  
か。國家興亡の實を見て、之を覺ら

配付を爲さしめたりしが該種は強良にして其の蘭價普通有

に應詔の統一に努むることとし大正  
九年には原々蠶種七百九十一枚を

知

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----



山  
卷  
二

右の三品何れも五十枚

杖御持參の御方には

大敷  
相島  
之

天

皆様方の御慰みに

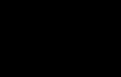
U.

錫	高	十二圓七十九錢
安	值	十二圓七十六錢

三月限	五萬五千四百五十石
四月限	六萬三千八百石

100

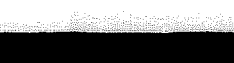
100



100

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



100











